

東京大学医科学研究所倫理審査委員会第一委員会 平成30年度第9回議事要旨

日時：平成31年1月7日(月) 15:00～15:45
場所：1号館2階 2-1会議室
出席者：古川委員長
水本、鎮目、小池、佐々、大津、高橋、岩間、渋谷、稲生、井上(悠)の各委員
欠席者：井上(純)委員
陪席者：神里研究倫理支援室准教授、
上原研究支援課長、研究推進チーム鶴岡係長、菅原一般職員、岩坂派遣職員

(議事)

1. 倫理審査申請書の審査について

(1) 28-55 「HIV感染症に関する臨床ゲノム情報に関する研究」(変更)

(申請者：感染症分野・教授・四柳 宏)

研究分担者である古賀 道子 助教から、本件の変更内容について説明があった。次いで、変更箇所の確認等について質疑応答が行われた。審議の結果、以下の点を修正することを条件に承認することとした。

- ① 健常者用の説明文書について、「研究体制」に、研究従事者の追加を反映させること。
- ② 共同研究機関の説明文書について、以下の箇所を修正するほうがよいと思われることを先方に伝えること。
 - ・「研究協力の任意性と同意撤回の自由」について、「お決めく」の誤記を修正するほうがよいと思われること。
 - ・「研究期間」について、終期を西暦表記に修正するほうがよいと思われること。
 - ・「研究体制」について、研究従事者の追加を反映させるほうがよいと思われること。

(2) 30-65 「移植後日和見感染症に対する特異的免疫細胞療法の確立に関する研究」(新規)

(申請者：分子療法分野・准教授・高橋 聡)

申請者である高橋 聡 准教授から、本件の申請内容について説明があった。次いで、他機関での対象者の募集方法、研究内容、企業との関係の有無、今後の研究計画等について質疑応答が行われた。審議の結果、以下の点を修正することを条件に承認することとした。

- ① 申請書について、「6. 1) ①種類、量、回数」について、「最大年5回」の「年」を削除すること。
- ② 説明文書について、以下の箇所を修正等すること。
 - ・「研究協力の任意性と同意撤回の自由」について、「本研究への～ご安心ください。」の一文を削除すること。また、「担当医」を「研究責任者」に修正すること。
 - ・「ご協力いただきたい内容と方法」について、全体の採血回数の上限を追記すること。
- ③ 募集ポスターについて、以下の箇所を修正等すること。
 - ・募集人数を追記すること。

- ・全体の採血回数の上限を追記すること。
- ・「実施責任者」を「研究責任者」に修正すること。

(3) 29-28 「臍帯血及び臍帯由来細胞等を用いた新規免疫細胞療法の開発」 (変更)

(申請者：セルプロセッシング・輸血部・准教授・長村 登紀子)

申請者である長村 登紀子 准教授から、本件の変更内容について説明があった。審議の結果、特に問題等の指摘はなく、これを承認することとした。

2. 修正の報告

委員長から、以下の申請について委員会指摘事項に対する修正の承認について説明があり、了承された。

- ・ 28-27 (変更)
「家族性腫瘍の発症リスクと病態に関するゲノム解析研究」
(申請者：臨床ゲノム腫瘍学分野・教授・古川 洋一)
- ・ 30-53
「血液による大腸疾患スクリーニング」
(申請者：総合診療科・講師・松原 康朗)
- ・ 29-82 (変更)
「成人血友病患者が血友病を自己管理するための支援ツールの開発と評価」
(申請者：看護部・看護師長・小粥 美香)
- ・ 30-55
「自家周産期付属物由来細胞を活用した新規細胞治療法の開発」
(申請者：セルプロセッシング・輸血部・部長/准教授・長村 登紀子)
- ・ 27-82 (変更、差替え)
「多発性骨髄腫を中心とした造血器腫瘍における免疫能および腫瘍抗原の評価」
(申請者：血液腫瘍内科・教授・東條 有伸)
- ・ 27-57 (変更、差替え)
「インフルエンザ罹患に関わる宿主因子の同定」
(申請者：ウイルス感染分野・教授・河岡 義裕)

3. 前回 (平成30年度第8回) 議事要旨の内容について承認した。

以 上